

平成 22 年度第 1 回中野市豊田地域審議会会議録

1 開催日時および会場 平成 22 年 5 月 17 日（月）午後 2 時
中野市役所 31・32 号会議室

2 出席委員および欠席委員氏名

(1) 出席委員 ・清野秀昭・神田融二・西野憲好・西野三恵子・神田一枝
・山口光左・小林登美子・宮沢賢明・津金裕子・関きよ子
・神田明光・神田寿

(2) 欠席委員 ・市川清人・西澤隆雄

(3) 出席職員等 ・市長・副市長・総務部長・健康福祉部長・子ども部長
・くらしと文化部長・経済部長・建設水道部長・消防部長
・議会事務局長・教育次長・会計課長補佐
・豊田支所長・地域振興課長・地域振興課長補佐兼総務係長
・地域振興課長補佐兼振興係長

3 議題および議事の顛末

進行：豊田支所長

1 開 会 【豊田支所長】

2 市長あいさつ 【中野市長】

3 会議事項

○豊田支所長：それでは中野市豊田地域審議会の設置に関する協議書第 7 条第 4 項の規定により、会議の議長は会長がこれにあたるとなっておりますが、現在、正副会長は欠員となっております。正副会長が選出されるまでの間、招集者である市長の進行で会議を進めていきますのでよろしくお願いいたします。

(1) 会長、副会長の選出について

○市長：正副会長につきましては、協議書第6条の規定により、委員の互選により定めるとなっていますが、どのようにしたらよろしいですか。

なければ、私のほうから選考委員の指名をさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

では、神田融二委員、津金裕子委員、山口光左委員の3人の方に選考委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なしの声)

よろしくお願いいたします。

それでは、暫時休憩とします。

(別室にて選考委員会を開催)

それでは、会議を再開します。選考委員代表の方から選考結果の報告をお願いします。

○委員：慎重審議の結果、会長に清野秀昭委員、副会長に関きよ子委員によりしくお願いしたいと思います。

(会場拍手)

○市長：ありがとうございました。それでは会長に清野秀昭委員、副会長に関きよ子委員ということでよろしく申し上げます。それでは、正副会長にあいさつをいただき、その後、会長に議長をお願いして会議を進めたいと思いますのでよろしく申し上げます。それでは、前の席へお願いします。

○委員：会長に選考されました清野秀昭でございます。

一言ご挨拶を申し上げます。中野市豊田地域審議会長という重責に大変心配しているところではありますが、皆様のご協力を得まして頑張りたいと思っております。

今まで合併以来、相当年数が経っておりますが、今後も、ますます豊田地域と中心部を含めたオール中野市という立場でPR

活動その他に努めていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員：副会長の関きよ子です。会長を補佐するということで皆さんのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(2) 平成 22 年度市の主な事業について

○会長：それでは会議事項（2）平成 22 年度市の主な事業について事務局から説明をお願いします。

○地域振興課長：（資料 1 赤書き部分を中心に説明）

○会長：ありがとうございました。ただいま、平成 22 年度市の主な事業等につきまして細かな説明がありましたが、このことにつきましてご意見ご質問等ありましたらお受けしたいと思えます。

○委員：ドッグランの場所について、よく聞かれます。道の駅から柵が見えますが、その周辺にドッグランを P R できるような標識などがあれば、皆さんがもっと使いやすいのではないかなと思えますが、どのようにお考えでしょうか。

○会長：市の見解を説明していただきたいと思えます。

○経済部長：おいでになる方に分かりやすい表示についてですが、3 つほど案内看板を出していますが、点検して改善したほうが良いということであれば検討してみたいと思っております、よろしくお願いします。

○委員：小さな看板は確かにありますが、皆さん「えっあったの？」という感じで、とても分かりづらい表示なので、できればもっと大きく分かるようにしていただけたらと思えます。

○会長：検討していただけるということですので了解をいただきたいと思えます。
ほかにありますでしょうか。

○委員：私は、区長会の役をやっていますが、先日、ある区での行事で、熊による人身被害がありました。それに対する対策、今後の対策などお聞きしたいと思います。

○会長：平成22年度の市の主な事業の中で、親川地区の電気柵設置の説明がありましたが、人身被害が発生しましたので、もう少し具体的に説明いただきたいと思います。

前回の豊田地域審議会におきましても鳥獣被害についての質問があり、市から文書で回答いただいておりますが、実際に被害が出ましたので、その対処法、今後どうしていくのかということを変更して市の見解を伺いたいと思いますので説明をお願いします。

○経済部長：農作物被害の観点からお答えさせていただきます。

その前に、被害に遭われた方にお見舞い申し上げたいと思います。このような被害を何とか予防したいのですが、資料1、18ページ下段の親川地区の電気柵設置についてですが、これは3戸以上の農地所有の方がまとまれば事業費の8割を補助するものです。この事業は、中野エリアがかなり進んでおりますが、豊田エリアはまだ取り組みが少ないのですが、今回、2.2ヘクタールほどまとまりましたので、今年度電気柵の設置を予定しています。

先日も被害に遭われた地元役員の方などが解決策はないか、と農政課へお見えになり、いろいろとお話しをさせていただきました。その中で感じたことですが、意外と被害に対して無防備という印象を受けました。例えば、畑に果物など餌となるものを廃棄したり、熊のなわばりに入ってしまったたり、入山する際の注意点など。また、猪を見かけた時に対応が非常に危ないという印象を受けました。被害を防止するには、やはり自己防衛が一番大切かと思えます。

その他の例を紹介しますが、猪を見かけて物を投げたという話しを聞きました。実際に熊より怖いのは猪です。猪に年間6～7頭くらいの猟犬が殺されています。突進力がすごく、牙が刺されればほとんどが即死状態です。

市では、このような事例等を紹介しながら、事故に遭わないた

めの啓発をしていきたいと考えていますので、各区の寄り合い、会合等の機会にお伺いして説明させていただきたいと、お話ししました。

○委員：今の説明でだいたい分かりましたが、熊を始末する対策とか今はないのですか？このままほっとくのですか？

○経済部長：人身被害が発生した際、長野県の熊対策委員等が現場に来ていたそうです。普通、山追いをするケースもあるようです。ところが、腰高の辺まで笹が生い茂っていて、逆に二次被害に遭う可能性が非常に高いことから、その場で山追いを即中止したようです。それが、一番正解だったと我々も判断しています。ただ、熊は、人を襲った場所へは、その熊が二度と戻ってこないという習性もあると聞いています。以上です。

○総務部長：庶務課の防災の観点の関係からお答えします。第一報を受けて市役所の関係部署へ連絡し、各部署の職員が出役しました。それから県など関係機関、鳥獣保護員、猟友会へも連絡しました。その他、音声告知放送、防災行政無線により豊田地域にお知らせしました。しかし、今回の反省点を踏まえて、連絡体制等もう一度チェックして、今後に生かしたいと考えているほか、併せてマニュアル等作っていきたいと思います。また、何かありましたらご意見をいただきたいと思います。

○会長：いま市から説明があったように、地元に対して、これから啓発活動が続けていただけるということですので、山へ入る機会がこれから多くなると思いますが、集会等あるときに事前に市と相談して説明会を開催して勉強しなোসというようなことで、歩調をあわせていただけたらありがたいと思います。いずれにしても、二度とこういった人災事故がないようにお互いに気をつけたいと考えます。ほかにございますか、

○委員：上今井駅と替佐駅は市で運営していると思いますが、駅に勤めている方が高齢で、連休などで混雑した時に、つり銭にも苦慮しているようです。80歳を過ぎているので業務も大変になって

きているので、今後の雇用についてお聞きしたい。

○総務部長：市では、JR 駅業務委託事業ということで替佐駅、上今井駅に 5 人の方をお願いしていますが、委員さんがおっしゃることも、こちらへ意見としてきています。しかし、採用等の過程などもあることから、現在、担当課で検討させていただいているところですので、利用者の皆さんになるべくご迷惑をかけないようにしていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

○委員：はい、わかりました。

○会長：よろしいでしょうか。
ほかにありましたら伺います。

○経済部長：貴重な時間いただいて、先ほどの件の補足をお願いします。
資料 1、18 ページ一番下の電気柵設置ですが、参考までにお聞きいただきたいのですが、農作物を主に猪、鹿などから守るための電気柵という意味で、今まで農地の所有者が 3 人以上まとまった場合に設置することができましたが、今回の事案から、1 つのエリアに部分的に電気柵を設置して、一部分の農地だけを守っても、電気柵を設置していない隙間があれば、そこから入ってしまいますので、農地というより地域を守る電気柵として、少し考え方を変えていただければ、区に対応として電気柵の計画に関与することにより、なお効果的ではないかと考えています。

先日も、大熊区や桜沢区で、そのような動きもありますので隙間を作らない、農地だと農家のためだけにやるのかと、農家のための電気柵ですが、それだけでなく事故防止の観点からも、区がある程度関わり計画されるのが良いのではないかと、そうならば市もそれなりの予算を用意しなければなりません、計画があつてどこまでできるかと次の計画もできますので、しかし、ピンポイントで電気柵を設置して、その後に全体的に囲おうかと話したときに、いわゆる二重投資になってしまいます。参考までにお話しさせていただきました。よろしくお願いします。

○会長：ありがとうございました。電気柵は農地を守るというよりも地域を守るというように考えていただき、区としても対応が必要になると思いますので、また機会を見て検討してみたいと思いますがいかがでしょうか。ほかにありましたら承ります。ほかになければ、その他の中野市地域交通対策協議会委員の推薦について進めさせていただきたいと思います。事務局で説明をお願いします。

○地域振興課長：それでは、中野市地域公共交通対策協議会委員の推薦依頼についてお願いします。4月8日付けで中野市豊田地域審議会長あてに中野市地域公共交通対策協議会委員1名の推薦依頼がきていましたが、正副会長が不在だったため今まで推薦を保留していました、よろしくご推薦をお願いしたいと思います。

○会長：ただ今、事務局から推薦依頼ということでありました、中野市地域公共交通対策協議会委員1名を推薦したいと思いますが、どのようにしてどなたを推薦したらいいか、お諮りしたいと思いますがご意見ありましたらお願いします。

○委員：前は、どのような方法で推薦したのでしょうか。今回も前回は参考にして推薦された方をお願いすると、そのような方法でやっていただいたらどうですか。

○会長：今までは、高野前会長にお勤めいただいておりますが、現在は空席になっていきますので、会長からの推薦という形だったようであります。

○委員：はい、進めていただいてよろしいのではないですか、私はそう思います。

○会長：ほかに意見がなければ、そういったことで推薦させていただきたいと思います。副会長の関きよ子さんをお願いしようと思いますがいかがでしょう。

(会場拍手)

全会一致ということで関さんをご推薦させていただきたいと思
います。

○関きよ子委員：皆さんよろしく申し上げます。

(会場拍手)

○会 長：関副会長さんにお受けいただきましたので、推薦させていただ
きたいと思ひます、よろしくお願ひいたします。
ほかに何かありましたらお願ひしたいと思ひます。なければ議題
もすべて終わりましたので議長を降ろさせていただきます。あり
がとうございました。

4 閉 会 【豊田支所長】